

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター たびだち学園		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月1日		～ 令和6年 10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38人 (家庭数 31)	(回答者数) 22人 (家庭数 18)
○従業者評価実施期間	令和6年 10月1日		～ 令和6年 10月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	身辺自立・コミュニケーション・集団行動等、集団で生活していく上でのスキルアップ。	幼稚園・保育園と併用、または通園を目指しているお子さんが多いため、療育よりもより大きな集団を目指した療育を心がけている。	併用しているお子さんについては幼稚園・保育園と訪問や情報共有を行いながら、本人が馴染んでいける取り組みや方法を一緒に考え、連携して取り組んで行く。
2	お子さんだけでなく、保護者との信頼関係をしっかりと築けているように感じる。また、面談等も随時行い、お子さんの様子を共有している。	相談等がある時には随時面談等の支援を行い、保護者に対するアドバイスや、心理的なケアに務めている。	今後も保護者との連絡を密に取りながら、面談など保護者が相談しやすい雰囲気・環境づくりを心掛けていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	行事やお知らせ等、連絡が遅い点。	役割分担やお知らせ時期は大まかに決まっているものの、明確な締め切りが設定されていないため。	役割分担やお知らせをする時期をより明確にし、担当スタッフが準備するための時間を確保する。
2	職員間の情報共有がしにくい点、情報の齟齬が生じる。	情報の齟齬が生じるのは、朝のミーティングで情報共有を行っているが、送迎や休みのスタッフがいない際に情報共有する手段や伝える人を設定していないことが原因と考えられる。	情報共有ノートを見やすくする、またその日のリーダーが送迎時や休みだったスタッフに共有するなど、情報共有に関するより良い方法を検討し設定していく。
3			